



石狩市

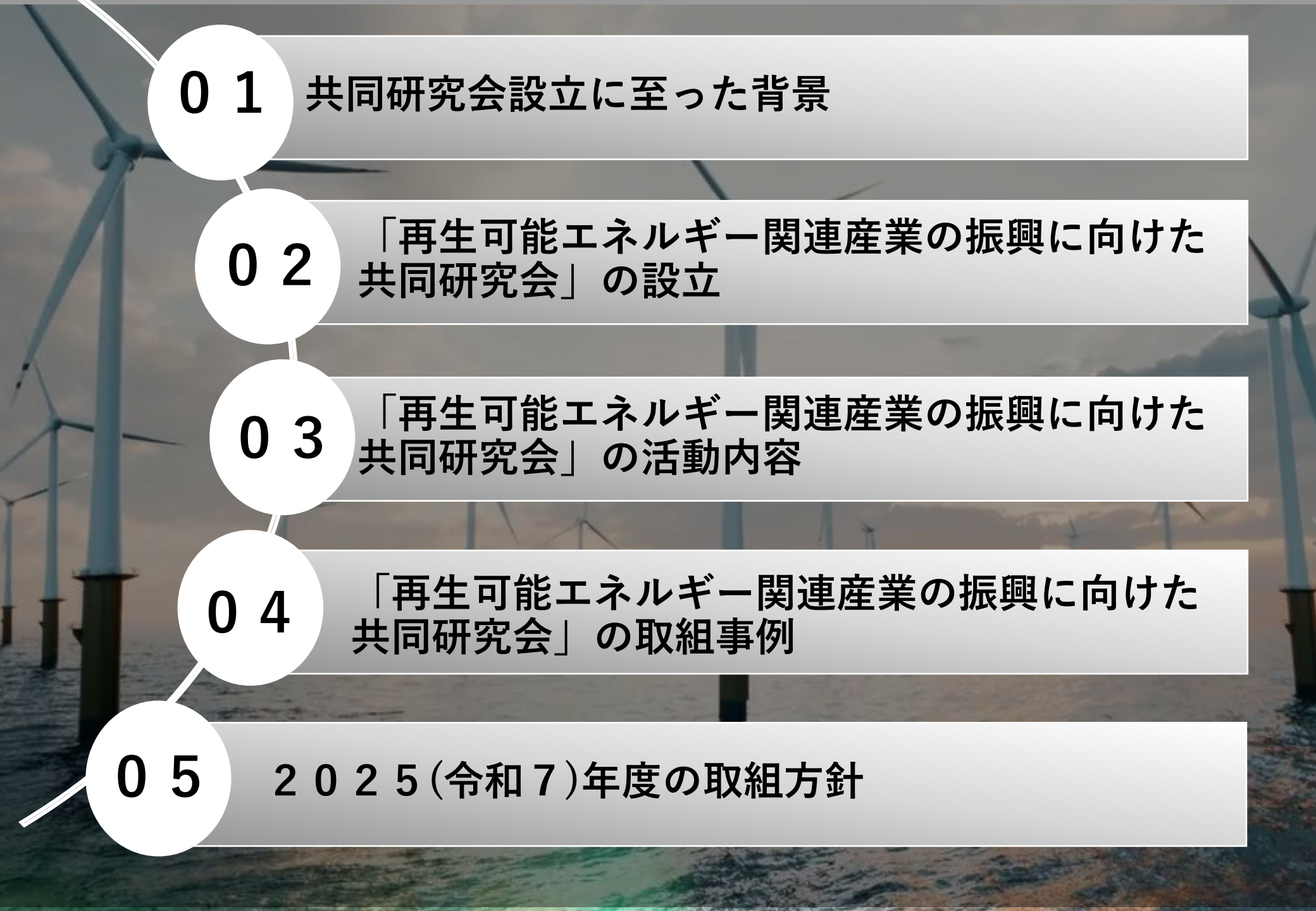
×



秋田市

2024(令和6)年度 再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会 事業報告書

2025(令和7)年6月



0 1 共同研究会設立に至った背景

0 2 「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の設立

0 3 「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の活動内容

0 4 「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の取組事例

0 5 2025(令和7)年度 of 取組方針

共同研究会設立に至った背景

石狩市と秋田市の共通事項

再生可能エネルギー関連産業の振興を施策の柱に掲げ先進的に取り組んでいる



- ・国内で先行的に大規模洋上風力発電所の商業運転が開始。
- ・今後、一般海域においても洋上風力発電事業が見込まれている。



- ・地域のクリーンエネルギーを地域で活用する「地産地活」を掲げている。
- ・再エネを100%工業団地やデータセンターの誘致などに取り組んでいる。

連携の意義

両市の再生可能エネルギー関連産業の育成や集積、発展を効果的に進める

- ▶ お互いのノウハウやリソースを生かした効率的・効果的な調査・研究が可能
- ▶ 関連企業や教育機関などに対する訴求力の向上が図られる

人口減少の克服や地域経済の活性化という共通の目標をクリアし、
「国内最先端の新エネルギー産業都市」として成長していくことを目指す

「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 設立①

2024(令和6)年7月に加藤石狩市長と穂積秋田市長の出席のもと、「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の設立を合意・発表した。

▶ 再生可能エネルギー関連産業の振興に特化した自治体間連携モデルは国内初



「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 設立②

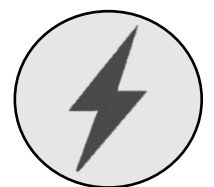
設立発表時に示した研究テーマ



研究テーマ 1

浮体式も視野に入れた洋上風力サプライチェーンの構築

- ▶両市が持つリソースやノウハウなどを活用する協力体制を構築し、地元企業のビジネスチャンスの拡大と関連産業への参入促進を図る



研究テーマ 2

再エネの「地産地活」に向けた電力需給モデルの検討

- ▶誘致の対象となる電力多消費産業、供給手法などについて情報・意見交換し、効果的な産業振興モデルを確立する。



研究テーマ 3

産業ツーリズムの振興

- ▶旅行代理店との連携などにより、両市の産業的な周遊をパッケージ化
- ▶洋上風力発電など、関連産業に不可欠な人材育成を行うツアープランを検討
- ▶小・中学生、高校生、大学生の相互交流による地域産業への理解醸成

研究
テーマ



「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 活動内容①

7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

活動一覧

★7/23設立合意

●9/1 第1回MTG

●10/21 第2回MTG

●11/25 第3回MTG

●12/25 第4回MTG

●3/4第5回MTG

担当MTGを概ね「月1回」のペースで実施

●7/23 加藤石狩市長 秋田市訪問

●8/19 穂積秋田市長 石狩市訪問

●11/8～ 秋田市の先進地調査（石狩市）

●1/27 石狩市企業の訪問（秋田市）

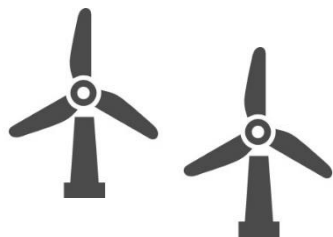
両市のコネクションを活用した首都圏企業訪問を適宜実施

「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 活動内容②

定例ミーティングの実施

令和6年9月1日 第1回MTG

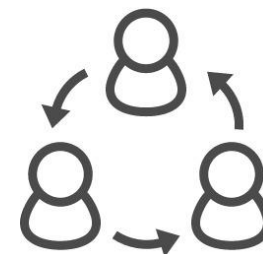
- ◆ 研究会の目的と今後の取り組み内容について議論。
- ◆ 3つのテーマに関する両市の目的を実現するため、地域に新たな動き、関係性をもたらす「関係人口の創出・拡大」が両市の目的達成の第一歩になるという意見が挙がった。



人流の創出

関係人口の拡大

洋上風力が国内でまだ珍しいうちにできる
経済効果最大化に向けた取組



令和6年10月21日 第2回MTG

- ◆ 「人流の創出」「関係人口の拡大」を実現するための具体的な手法として、秋田市から洋上風力や再エネに関する取り組みを通じた学生・企業の交流について提案があった。
- ◆ 秋田市との学生・企業交流は、石狩市が独自に検討している地元企業を中心とした組織体の結成に向けた方向性と合致する部分があり、事業内容を検討することとなった。

「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 活動内容③

令和6年11月25日 第3回MTG

- ◆ 両市が取り組む再エネ教育、視察対応に関する状況や手法を紹介し、これらに関連する課題を洗い出した。

令和6年12月25日 第4回MTG

- ◆ 秋田市が人材の育成に向け進める「あきた新エネルギーカレッジ」に関する情報を共有し、洋上風力発電所が立地する地域における人材育成のあり方について意見交換した。
- ◆ 企業交流の試行として、石狩市の「令和6年度洋上風力発電普及啓発推進事業」による石狩市内企業の秋田市への訪問について具体的な内容を協議した。



具体的な取組事例

石狩企業市業訪問団の秋田市訪問



「あきた新エネルギーカレッジ」の様子

令和7年3月4日 第5回MTG

- ◆ 令和7年1月27日に実施した石狩市企業による訪問団を振り返り、令和7年度の研究会としての取り組み内容を検討した。
- ◆ 企業間交流、GX人材の育成をテーマとして取り組むことを確認した。

「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 取組事例①

秋田市の先進地調査

概要

日 時 令和6年11月7日(木)～11月8日(金)

場 所 ・石狩市役所および石狩湾新港
・五洋建設室蘭製作所および室蘭市役所

参加者 【石狩市】 3名(市職員3名)
【秋田市】 4名(委員2名、市職員2名)

内容

- ◆ 秋田市が産学官の委員で組織している「秋田市再生可能エネルギー推進検討委員会」の先進地調査のフィールドとして、石狩市と室蘭市を選定。
- ◆ 石狩市が風力発電の導入に適した環境であることが再認識されたとともに、再エネの地産地活を目指す石狩市の施策を調査した。
- ◆ 室蘭市の調査には石狩市職員も同行し、低コスト再エネ水素サプライチェーンの取組について共に理解を深めた。
- ◆ 今後、こうした取組により、両市の交流促進を図ることで、より具体的な検討が進むものと考えられる。



石狩湾新港内の洋上風力発電



水素ボイラーが設置された道の駅みたら室蘭

「再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 取組事例②

石狩市企業の秋田市訪問

概要

日 時 令和7年1月27日(月)～1月28日(火)

場 所 秋田市役所および洋上風力発電関連施設

参加者 【石狩市】 10名（企業5社 5名、商工会議所1名、市職員4名）
【秋田市】 18名（企業6社 10名、商工会議所2名、市職員6名）

内容

1日目は秋田で洋上風力発電事業を行っている2者から事業説明や地元企業の参入促進に関する講演を行った。



会場の様子



「秋田港・能代港洋上風力発電事業
～運転開始後の状況と地元企業の参入可能性について～」

秋田洋上風力発電株式会社
代表取締役社長 井上 聡一 様



「洋上風力発電事業における地域貢献策について」

男鹿・潟上・秋田 Offshore Green Energy 合同会社
地域共生チーム長 光岡 直人 様

再生可能エネルギー関連産業の振興に向けた共同研究会」の 取組事例③

内容

2日目は実際に秋田市内の洋上風力発電関連施設の視察を実施した。

【視察ルート】

1. 秋田港洋上風力発電事業の視察（ポートタワー「セリオン」、AOW風みらい館）
2. 秋田市内の風力人材育成施設視察（風力トレーニングセンター「秋田塾」）



「風力トレーニングセンター 秋田塾」視察

- ◆ 石狩市令和6年度「洋上風力発電普及啓発推進事業」において、地域企業による“組織体”結成を実現するため、**地域企業の代表者と石狩市職員が秋田市を訪問**。
- ◆ 秋田市内で洋上風力発電事業に参画する企業との意見交換、現地視察などを経て、洋上風力発電の**地域産業化を検討する上での石狩市の課題、優位性を把握**した。
- ◆ 視察結果は、石狩市内企業を対象とした洋上風力に関する意見交換会において報告した。

2025(令和7)年度の取組方針

2024年度の実績を踏まえ、「洋上風力が国内でまだ珍しいうちにできる経済効果最大化に向けた取り組み」を主眼に置いた活動を進めることとした。また、洋上風力発電が稼働する両市の強みを生かし、市民交流やGX人材育成に取り組む。

2025年度の方針

事業

①両市の企業・市民による交流

②若年層を対象としたGX人材育成検討

目標のイメージ

- ✓ 北日本での洋上風力サプライチェーン構築
- ✓ 両市企業の交流によるGX関連新規事業の創出
- ✓ 相互交流による両地域への理解促進や経済効果の創出
- ✓ 両市における産業ツーリズムモデルの構築

- ✓ 不足が見込まれる洋上風力人材の育成
- ✓ 将来に渡る電力需給モデルの実現に向けた地域人材の育成
- ✓ 教育旅行・企業研修旅行などによる学びのフィールドとしての価値向上

主な取り組み案

■ 訪問団による企業・市民交流

秋田市では、2024年度に長崎県からの企業訪問団を受け入れた。

研究会に関する取り組みとしても、石狩市内企業などで構成する訪問団を結成し、秋田市内の企業と意見・情報交換をする。

■ 秋田市を事例とした人材育成手法の検討

秋田市が実施する大学生向けの再エネ関連人材育成プログラム「あきた新エネルギーカレッジ」をベースとし、両市の若年層の交流も含め、GXを推進する地域にどのような人材育成が必要なのかを調査・検討する。